

コメント

1.流行性耳下腺炎

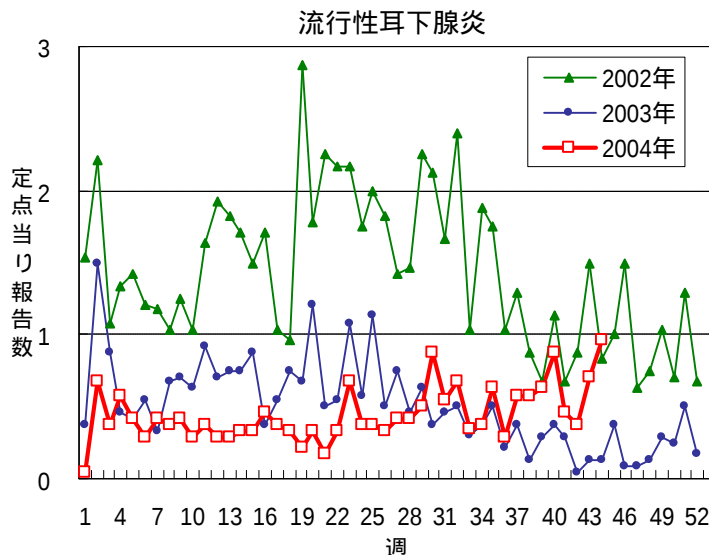
定点当り0.96人とやや増加しています。報告数は多くありませんが、今年最も多い報告数でした。西区では3.3人となっています。

2.感染性胃腸炎

定点当り4.33人とやや増加しています。

3.水痘

定点当り0.67人とやや減少しています。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去4年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去4年間	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	0.02		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.08		流行性耳下腺炎	23	0.96	0.54	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.63	0.99		RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	104	4.33	3.48		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	16	0.67	1.24		流行性角結膜炎	5	0.63	0.97	
手足口病	3	0.13	0.71		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.18		無菌性髄膜炎	-	-	0.18	
突発性発疹	23	0.96	0.72		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.32	
百日咳	-	-	0.03		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.08						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均(定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	コレラ(疑似症)	1	3	男性(20歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

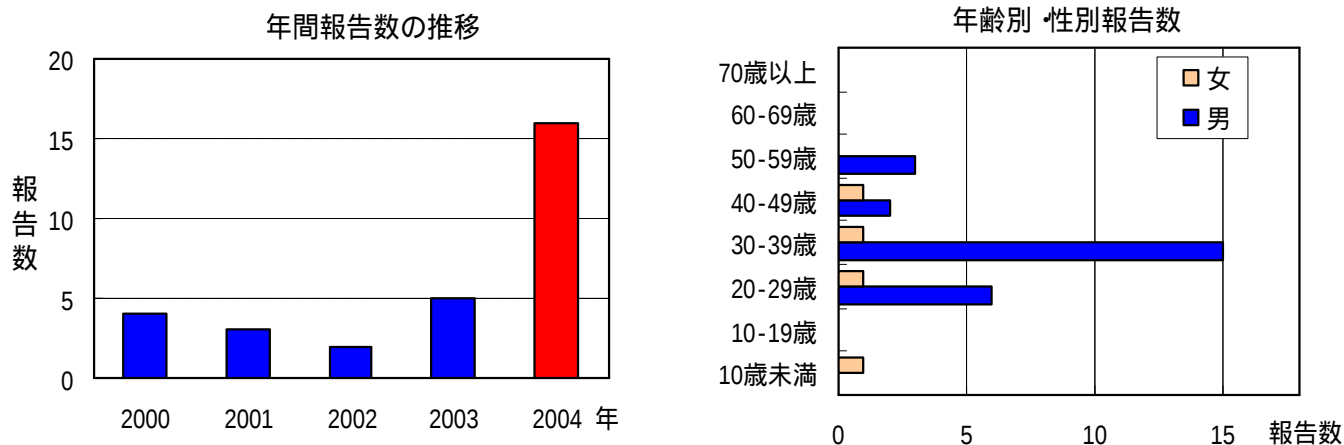
		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹 (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻疹
報告数	広島市	第40週	-	2	14	93	5	3	4	20	-	-	7	-	21	-	10	-	1	2	-
		第41週	-	4	12	120	17	3	2	22	1	1	4	1	11	6	-	2	6	-	-
		第42週	-	6	10	66	17	1	1	14	2	-	3	-	9	6	-	-	3	-	-
		第43週	-	3	13	90	24	5	1	15	2	-	4	1	17	4	-	1	3	-	-
		第44週	-	2	15	104	16	3	1	23	-	-	2	-	23	5	-	-	-	-	-
定点当り	広島市	第40週	-	0.08	0.58	3.88	0.21	0.13	0.17	0.83	-	-	0.29	-	0.88	-	1.25	-	0.14	0.29	-
		第41週	-	0.17	0.50	5.00	0.71	0.13	0.08	0.92	0.04	0.04	0.17	-	0.46	0.04	-	0.29	0.86	-	-
		第42週	-	0.25	0.42	2.75	0.71	0.04	0.04	0.58	0.08	-	0.13	-	0.38	-	-	-	0.43	-	-
		第43週	-	0.13	0.54	3.75	1.00	0.21	0.04	0.63	0.08	-	0.17	-	0.71	0.04	-	0.14	0.43	-	-
		第44週	-	0.08	0.63	4.33	0.67	0.13	0.04	0.96	-	-	0.08	-	0.96	-	0.63	-	-	-	-
全国		第42週	0.01	0.11	0.58	2.49	0.52	1.02	0.10	0.65	0.01	0.01	0.18	-	0.84	0.01	0.75	0.01	0.28	0.01	-
		第43週	0.01	0.12	0.83	2.76	0.70	0.99	0.11	0.67	0.01	0.01	0.14	-	0.98	0.02	0.74	0.01	0.26	0.01	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻疹を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	12	女	2004/09/21	髄液	エコーウイルス6型
CMV肝炎	0	男	2004/09/27	尿	エコーウイルス6型

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の報告数 (2000年第1週～2004年第44週)



後天性免疫不全症候群の報告は、2000年第1週から2004年第44週までに30件ありました。年間報告数は2003年まで2～5件で推移していましたが、2004年はすでに16件が報告されています。年齢別では20歳代～30歳代が多く、この年齢層が全体の77%を占めています。また、男女別では男性が多く、87%を占めています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2004年第44週 (10月25日～10月31日)